

平成24年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成25年3月末現在) (NO:1)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|---------------|---------------------------------|------|--|--|---|
| 1 土 (1) | H24. 04. 05 15:30 転落 | 道路 | 橋台の橋座面にて損傷調査を実施中、作業員が損傷写真を撮影するため後退りしたところ、足を踏み外して護岸法面（橋座より1m下）に落下した。 男 34歳（右肩関節脱臼）約30日間の加療を要す | ・安全意識の欠如 | ・安全教育の徹底 |
| 2 土 (2) | H24. 04. 11 14:50 転落 | 道路 | 降雨により濡れた状態の梯子を作業員が下りていた時に、足が滑り、約3.0~3.5mの位置から転落した。 男 62歳（全身打撲）約3週間の加療を要す | ・降雨時でも足を滑らせにくい階段タイプにするなどの対策をとっていなかった。 | ・足の踏み幅が確保でき、滑りにくいコンビステップ（階段）を使用する。 |
| 3 農 (1) | H24. 04. 12 18:50 工具・資材 | 農道 | ホースジョイント部のエア漏れの点検を行っていたところ、高圧ホースがジョイント部で外れ、ホースが作業員の顔面（眉間）に当たり、かつ、両眼に圧縮空気を浴びた。男 62歳（両角膜異物、両網膜振盪、右結膜下出血）1カ月程度通院加療を要す | ・残圧を抜かずにジョイント点検を実施した。 | ・高圧ホースの点検作業を行う場合には、残圧を抜いて実施するよう徹底する。 |
| 4 土 (3) | H24. 04. 22 20:50 その他 | 道路 | 当該路線を北進中の車両が踏切手前で停止中に対向車の水はねを受け、常温合材による補修の際に発生したと思われるタールがフロントガラス等に付着した。 （物損事故） 公衆災害 | ・安全管理措置が不十分 | ・安全管理の強化及び徹底 |
| 5 土 (4) | H24. 04. 30 10:00 流出 | 災害 | 胴込コンクリートに使用する生コンを仮置きするため鋼製ボックスを重機で引っ張って移動していたところ、重機が横転し、重機から燃料が漏れ、河川に流出した。 （物損事故） 公衆災害 | ・現場代理人の作業員に対する指示が不十分であった。 | ・社内での安全教育の徹底 ・作業ごとに作業状況の安全を確認し指示できる安全確認者を設置する。 |
| 6 土 (5) | H24. 05. 02 7:30 流出 | 災害 | 軽油缶を運搬していたトラックから軽油が漏れ、一部が河川に流出した。また、軽油が漏れた場所（路面上）で、一般車両の衝突事故が発生した。 （物損事故） 公衆災害 | ・作業員の不注意から軽油運搬時に転倒防止および密栓をしていなかった。 | ・重機燃料はガソリンスタンドより現地ヘローリーで配達する。 |
| 7 土 (6) | H24. 05. 12 11:40 挟み込み | 災害 | ブロック積作業中、バックホウのバケットの中にあるブロックを作業員が取り出そうとしたところ、バケットが下がり、作業員の右足の小指がバケットと岩盤の間に挟まれ負傷した。男 58歳（右足趾左挫創、右第5趾挫滅切断創）全治2週間の見込み | ・バケットを地面との間に隙間をあけて静止し、かつ、作業員が足をその隙間に入れていた。 ・安全靴の未着用 | ・バケットを必ず地面につけた状態で、かつ、エンジンを止めて実施する。 ・安全靴の着用を徹底。 |
| 8 土 (7) | H24. 05. 19 10:50 架空線・埋設物 | 道路 | ダンプトラックが工事現場内で荷台を上げて土砂を降ろした後、荷台が上がった状態のまま移動したため、ISDN回線ケーブルに荷台が接触し、断線した。 （物損事故） 公衆災害 | ・安全管理措置が不適切 | ・安全管理の強化 |

平成24年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成25年3月末現在) (NO:2)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|-------------------------------|------|--|---|---|
| 9 林 (1) | H24. 05. 21 16:50 転落 | 治山 | 法枠上に仮置きしていた鋼管を移動させるため、ワイヤーで吊り上げようとしたところ荷崩れをおこし、作業員が下側に押され、作業員は安全帯をしていなかったため、12mほど法面を転落した。 男 25歳 (左肩甲骨骨折等) 4週間程度の安静加療を要す | ・作業員が安全帯を使用せず作業をしていた。 ・玉掛け作業を無資格者に行わせた。 | ・安全帯の使用を徹底する。 ・資格等が必要な作業について、事前に資格有無を確認する事を徹底する。 |
| 10 土 (8) | H24. 05. 21 不明 建設機械 | 道路 | 当該工事で使用している舗装用ローラーが店舗駐車場に誤って進入したことにより、店舗内駐車場に埋設されていた水道管のジョイント部分が緩み、漏水した。 (物損事故) 公衆災害 | ・施工にあたり店舗駐車場の一部を借りていたが、乗用車程度の使用として作業員へ周知していなかった。 | ・作業前の安全教育により作業員との情報共有を徹底する。 |
| 11 土 (9) | H24. 05. 31 9:45 転落 | 災害 | 法面上の作業箇所へ移動するため、ロリップ金具を別の親綱ロープに付け替えしている際に、足元が滑り、法面を約50m滑落した。 男 44歳 (右脛骨遠位粉碎骨折、右腓骨骨折、右橈骨遠位端骨折、左肩甲骨骨折) 約2ヶ月の安静療養を要する見込み | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 12 土 (10) | H24. 05. 31 16:50 流出 | 災害 | 現場完了により撤収のため重機を自走させて移動していたところ、橋脚鉄筋に重機の油圧ホースが接触し、機械作動油の流出が発生し、一部河川に流出した。 (物損事故) 公衆災害 | ・河川流水内の橋脚鉄筋の存在を作業員に周知していなかった。 | ・作業に携わる全作業員との情報共有の徹底 |
| 13 土 (11) | H24. 06. 01 20:30 転倒 | 道路 | 被害者が本工事路線の歩道をジョギング中、信号交差点を横断しようとして信号が青になるのを確認し、横断歩道を渡ろうとしたところ、切り下げタイプでない縁石が設置されており、これにつまずき転倒した。 女 62歳 (両膝打撲) 全治5日間 | ・施工順序が悪かった。 ・保安施設が不十分。 | ・現場に対応した施工手順の見直し。 ・保安施設の増設。 |
| 14 土 (12) | H24. 06. 07 19:30 流出 | 道路 | 一級河川の工事現場下流で魚類のへい死が確認された。 (物損事故) 公衆災害 | ・ブロック積の裏込め材と背面の盛土に水締め注入を行った事により再生砕石の強アルカリ成分が溶出した。 | ・狭窄部の盛土の転圧や裏込め材の締め固めには小型の締固め機械で行う事を徹底する。 |
| 15 土 (13) | H24. 06. 11 9:50 挟み込み | 道路 | モノレールの荷台から雪崩防止柵の支柱を作業台に移す作業で、作業指示をしていた作業員が補助しようと支柱を支えたところ、樹木との間に手をはさんだ。 男 41歳 (右手打撲挫創) | ・モノレールの停車位置が安全に作業できる位置ではなかった。 ・作業員間の声掛けが不十分 | ・停車位置を再度確認し、誰もがわかるよう目印をつける。 ・合図、声出し作業を徹底。 |
| 16 土 (14) | H24. 06. 15 11:35 工具・資材 | 道路 | 作業員が既設伸縮装置のコンクリート部分のはつり作業中、ブレーカーの先端にある金属ノミ部分が跳ね、作業員自身の右足を突いた。 男 26歳 (右足右第Ⅲ指打撲挫創) 約2週間の通院加療を要す見込み | ・安全意識の欠如 ・作業時の保護具が不十分 | ・安全教育の徹底 ・作業内容に対応した保護具 (鋼プロテクター付きの安全靴) の使用徹底 |

平成24年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成25年3月末現在) (NO:3)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|-------------------------------|------|--|---|--|
| 17 土 (15) | H24.06.15 15:40 架空線・埋設物 | 災害 | 現場内の民家から出てきた普通乗用車が対向してきたため、バックホウを待避所まで後進し、旋回した際に架空線をアームで引っ張り、切断した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 18 都 (1) | H24.06.22 15:00 挟み込み | 上水道 | バックホウによる土砂掘削作業中、排水用ホースが作業の支障となり、作業員(被災者)がホースを持ち上げ、オペレータに合図を送りながらホースの下を掘削した時にバケットと既設構造物の間に手が挟まって指を損傷した。男 60歳(左示指切断等)約8週間の加療を要する | ・重機誘導員を配置せず、重機の作業範囲内にて作業を実施していた。 | ・重機作業の際、やむを得ず、作業半径内に立ち入る場合は誘導員を配置するよう徹底する。 |
| 19 土 (16) | H24.06.23 15:45 挟み込み | 道路 | 流路工のボックスカルバートをラフタークレーンで据付け作業を実施していたところ、クレーンが傾き、吊り上げていたボックスカルバートと切土法面の間に足が挟まれた。男 67歳(右脛骨近位端骨折、左大腿骨遠位端開放骨折)4ヶ月の加療を要する見込み | ・クレーンの最大作業半径を越える場所までブームを伸ばして施工していた。 ・安全意識の欠如 | ・吊荷荷重と作業半径の関係を把握し、クレーンの最大作業半径内で作業するよう徹底する。 ・安全教育の徹底 |
| 20 土 (17) | H24.06.26 10:05 交通事故 | 道路 | 舗装を切削し、切削された状態で交通解放をしていたところ、原動機付自転車の運転手が切削による舗装段差付近でハンドル操作が不安定となり転倒した。 男 75歳(左肋骨骨折等)約2週間の休務加療を要する見込み | ・車両通行帯外についてはカラーコーンを設置していたが、想定外の隅角部の擦り付け未施工部分より進入した。 | ・車両通行帯外も含め段差部の全てにすりつけを施工 |
| 21 土 (18) | H24.06.27 15:00 架空線・埋設物 | 災害 | 舗装の路盤施工時に、路盤材を下ろすためダンプトラックの荷台を上げたところ、架空線の保護用垂れ防止ハンガーに引っ掛かり、よじれさせた。 (物損事故) 公衆災害 | ・ダンプ運転手の不注意 ・防護カバーの未設置 ・重機とダンプの誘導員を1名で実施していた | ・安全教育の強化 ・防護カバーの設置徹底 ・現場に応じた適正な誘導員の配備(誘導員の増員) |
| 22 土 (19) | H24.06.29 9:00 架空線・埋設物 | 災害 | ダンプトラックとバックホウの入れ替えをするため、バックホウを前方へ移動したところ、架空線に接触し断線した。 (物損事故) 公衆災害 | ・架線防護管の未設置 ・安全意識の欠如 | ・架線防護管の設置 ・安全教育の徹底 |
| 23 土 (20) | H24.07.12 14:00 草刈・除草 | 道路 | 草刈機を用いての除草作業中、作業箇所と反対側の車線を走行中の一般車両に飛び石があたり、運転席側の窓ガラスが破損した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 24 土 (21) | H24.07.16 8:20 架空線・埋設物 | 道路 | バックホウが河川沿いの道路を横断中、アームを上げたまま移動したため、架空線を引っ掛け切断した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 ・安全意識の欠如 | ・安全対策の強化、徹底 ・安全教育の徹底 |

平成24年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成25年3月末現在) (NO:4)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|---------------------------------|------|--|---|---|
| 25 土 (22) | H24. 07. 18 13:30 草刈・除草 | 道路 | 堤防道路の除草作業中、通行者から、飛び石で車のガラスが破損したと申し出があった。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 26 土 (23) | H24. 07. 18 14:00 その他 | 道路 | 車道のクラックを補修するためシール材を注入し、その後にシール材の付着防止処理(石灰散布)を行い交通規制を解除していたが、車両の通行によりクラック補修材が飛散し、一般車両に付着した。 (物損事故) 公衆災害 | ・シール材が固化するための養生及び交通規制解除にあたっての固化状況の確認が不十分だった | ・加熱したシール材が冷却し固化するために必要な養生を行う ・交通規制の解除にあたり実走による固化状況を確認する。 |
| 27 土 (24) | H24. 07. 24 9:40 草刈・除草 | 道路 | 草刈機による除草作業中に小石が飛び、通行車両の助手席側フロントガラスに当たり破損した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 28 土 (25) | H24. 08. 11 10:30 交通事故 | 道路 | 現場内の歩道を路盤状態で開放していたところ、現場を通行していた自転車が釘を踏みパンクした。 (物損事故) 公衆災害 | ・歩道路盤の再生砕石に混入している材料や路盤表面の点検を怠っていた。 | ・路盤資材の異物混入確認、および、交通解放前に路盤表面の点検を徹底する。 |
| 29 林 (2) | H24. 08. 13 16:30 転落 | 治山 | 溪流測量作業終了後、車に戻るため山地斜面を歩行中に谷方向へ滑落し負傷した。 男 23歳(顔面骨折、左橈骨頭骨折、右橈骨骨折、左腓骨骨折) 約12週間の安静加療を要する見込み | ・作業員の不注意 | ・安全教育の強化 |
| 30 土 (26) | H24. 08. 17 10:00 草刈・除草 | 河川 | 作業員が肩掛け式除草機で除草作業中、現場付近に不法投棄されていた鉄くずを草刈機の刃で跳ね飛ばし、自分の右足に当たった。 男 28歳(右下腿挫創)5日間の局所安静・加療を要する | ・除草作業前の現場確認が不十分 | ・作業前の現場確認を徹底 |
| 31 土 (27) | H24. 08. 20 15:00 架空線・埋設物 | 道路 | 排水構造物設置のため、人力併用で機械掘削をしていたところ、水道管が横引きから縦引きに変化しているのに気づかず、BHの爪で水道管を引っ掛けて切断した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 32 土 (28) | H24. 08. 27 8:55 火災 | 河川 | 堤防敷に繁茂した竹林を伐採していたところ、作業員がハチの巣を発見し、携帯用ガスバーナーで駆除しようとして着火したが、これが下草に引火した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全意識の欠如 | ・安全教育の徹底 |

平成24年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成25年3月末現在) (NO:5)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|---------------------------------|------|--|--|---|
| 33 土 (29) | H24. 09. 10 16:00 転落 | 道路 | 作業終了後、作業員が擁壁(H=約1.6m)より飛び降り左足踵を強打し骨折した。 男 48歳(左踵骨折)3ヶ月の休務加療を要する | ・作業員の不注意 | ・安全教育の強化 |
| 34 土 (30) | H24. 09. 14 10:30 建設機械 | 河川 | 除草作業の集積にバックホウを使用しており、河川内の緩斜面(20%程度)を走行中に直径約30cmの玉石に乗り上げ横転した。 (物損事故) | ・安全意識の欠如 | ・安全教育の徹底 |
| 35 林 (3) | H24. 09. 14 不明 その他 | 治山 | 工事で設置した索道ウインチ用アンカーを撤去(取壊し)していたところ、誤って、道路構造物である軽量盛土(EPS)抑止工の部材を破損させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・下請業者と索道ウインチ用アンカーの構造や取壊し時の注意点について十分な説明や打合せを行っていなかった。 | ・社内点検を実施し確認すべき事項の厳守に努める。 |
| 36 都 (2) | H24. 09. 20 13:40 架空線・埋設物 | 街路 | カーブミラーを設置する際、ガイド孔を掘るため、油圧式打ち込み機にて打設を行っていたところ、函渠内照明の電線(埋設)を切断させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・函渠内照明の管理者との打合せを失念した。 | ・安全教育の強化 |
| 37 林 (4) | H24. 10. 13 8:30 建設機械 | 林道 | ダンプトラックで残土を運搬中、林道の下り坂で、ブレーキが効かなくなり、ギアも低ギアに入らなくなり、法面にダンプトラック側面を接触させながら減速させ、斜面上に乗り上げ横転した。 男 53歳(右肩、胸部、腕打撲) | ・下り坂をトップギアで走行し、フットブレーキを多用していた。 | ・下り坂ではエンジンブレーキ、排気ブレーキを使用した走行を徹底する。 |
| 38 土 (31) | H24. 10. 16 14:45 火災 | 道路 | 工事の支障となる橋梁上部工の下横溝を取り外すため、連結部の高力ボルトを、ガス溶接機を使用し溶断していたところ、足場の隙間から火の粉が落ち、桁下の枯れ草、雑木片、竹などに引火し火災が発生した。 公衆災害 | ・不燃シートの設置範囲が狭かった。 ・出火当時、見張員が作業現場を離れていた。 | ・火気を伴う作業について、防炎シートの2重張り養生、地面への散水。 ・見張員を常駐させる。 |
| 39 林 (5) | H24. 10. 29 9:30 工具・資材 | 治山 | 現場内の資材置場において、作業員(被災者)が一人で角パイプの仕分け作業中に上部の角パイプが左手の上に崩れ落ち、負傷した。 男 18歳(左中指、環指圧挫裂創)10日間程度の外来加療を要する | ・被災者は業務経験が浅く安全作業の理解度が低かった。 ・作業員の不注意 | ・新入社員には特に作業内容・注意点を詳しく説明し理解度を確認する。 ・資材の整理方法の見直し |
| 40 土 (32) | H24. 11. 05 11:30 転倒 | 砂防 | 既存の砂防施設を現地にて調査する業務(外業)において、調査員が河川内を歩行中に川原の石に足をとられて転倒した。 男 58歳(右小指中節骨骨折)約6週間の加療を要する | ・作業員の不注意 | ・安全教育の強化 |

平成24年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成25年3月末現在) (NO:6)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|-------------------------------|------|--|--|--|
| 41 林 (6) | H24.11.5 13:30 架空線・埋設物 | 治山 | 道路落石防護柵にもたれかかっていた支障木を根元付近から伐採したところ、伐採した木が落石防護網上を先端から道路上へ滑り落ち、その勢いで根元が反転、道路照明灯用の電線に引っかかり切断した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 42 土 (33) | H24.11.19 11:30 架空線・埋設物 | 道路 | 地上約6m地点のNTT引張ワイヤをバックホウのアーム部分で誤って切断し、これにより跳ね上がったワイヤが、上部に架設されていたケーブル線を切断した。 (物損事故) 公衆災害 | ・見張作業員が不在であったにもかかわらず、重機オペレータのみで作業を行った。 | ・架空線近接作業時には必ず見張員を配置する体制とする。 ・安全教育の強化。 |
| 43 土 (34) | H24.11.19 15:00 飛来物・落下物 | 道路 | 片側交互通行規制して法面工事を施工中、小石が落下し、走行中の乗用車の右側後方のガラスに当たった。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 44 土 (35) | H24.11.19 15:00 転落 | 道路 | 伐採する枝の道路上への落下を防ぐため、作業員(被災者)は伐採する枝にロープを結束し固定していた。伐採後、結束していたロープを片付けようとした時、背中から滑る形で水路に転落した。 男 60歳(第二腰椎圧迫骨折等) 全治1ヶ月間を要する見込み | ・作業員の不注意 ・作業員自身の体調不良軽視 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 45 土 (36) | H24.11.20 16:00 架空線・埋設物 | 道路 | バックホウを旋回させた時にバックホウの後部が、電柱に接触し破損させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・バックホウオペレータの不注意 ・安全対策が不十分。 | ・安全教育の強化。 ・安全対策の強化、徹底。 |
| 46 土 (37) | H24.12.12 10:30 架空線・埋設物 | 道路 | 雪捨場にてダンプトラックの荷台を上げ排雪した後、荷台を戻しきる前に前進し、荷台が架空線に接触して破断させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全意識の欠如 | ・安全教育の徹底 |
| 47 都 (3) | H24.12.12 10:30 架空線・埋設物 | 街路 | 側溝敷設工事において、既設側溝取壊し時に宅内への上水道引込管を切断した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全意識の欠如 | ・安全教育の徹底 |
| 48 土 (38) | H24.12.27 11:50 飛来物・落下物 | 砂防 | 立木の枝払いを実施後、交通解放をしたところ、樹木に引っかかっていた枝が通行車両のボンネット上に落下し、ボンネット上に幅5mm程度のへこみが生じた。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |

平成24年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成25年3月末現在) (NO:7)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|--------------------------------|------|---|---|---|
| 49 林 (7) | H25.01.12 15:15 転倒 | 治山 | カゴ枠の中詰材となる割栗石を、小型バックホウで仮設作業道を利用して運搬し、設置完了したカゴ枠付近で旋回しようとしたところ、バックホウが路肩に寄りすぎていたためバランスを崩して転倒した。 男 48歳 (腰背部打撲、左膝打撲、右側胸部打撲) | ・必要な資格を持たない作業員がバックホウを運転していた。 ・安全対策が不十分 | ・有資格者が取扱いを実施するようKY確認時に当日の運転者を確認する。 ・安全対策の強化、徹底 |
| 50 土 (39) | H25.01.15 10:15 架空線・埋設物 | 砂防 | バックホウによる仮設作業道路の除雪作業中、後方を確認しようと旋回したところ、ブームを電柱支線に接触させ、電柱を折損した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 51 都 (4) | H25.2.13 8:30 流出 | 街路 | 使用していた杭打機が故障(油圧ホースが破損)し、油漏れ対策を実施しながら修理を行ったものの、河川へ一部油が流出した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 52 都 (5) | H25.02.11 9:30 転落 | 上水道 | 作業員が人力で護岸エブロック天端の法面整形作業を実施した後、機械整形のためバケットの位置を確認していた際、あやまってバランスを崩して河床部に転落した。 男 39歳 (右踵骨骨折) 全治約2ヶ月を要する | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 53 林 (8) | H25.03.01 15:00 立木処理 | 治山 | スイングヤードで支障木の枝を搬出する作業を行っていたところ、滑車が跳ね上がり作業員の顎に当たった。 男 23歳 (歯牙打撲等) 2週間の治療期間を要する | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 54 土 (40) | H25.03.02 14:00 転落 | 道路 | 橋脚の耐震補強工事において主鉄筋の定着作業中、作業員が地上高さ3.6mの足場上を移動するため、1丁掛の安全帯のフックを外し移動したところ足場板を踏み外し、地上まで転落した。 男 17歳 (右橈骨遠位端骨折) | ・作業員の安全帯使用方法の不備 ・足場板と躯体の隙間の間詰不足 | ・安全帯の2丁掛を行う。 ・躯体と足場板の隙間に足場板の追加、幅木を設置する。 |
| 55 土 (41) | H25.03.14 5:20、7:30 交通事故 | 道路 | 車道舗装において既設舗装と新設舗装の間に隙間が50cm生じるため路盤と常温合材を敷設してすりつけていたが、前日の雨により穴ぼこが生じ、通行車両のパンク事故が2件生じた。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 ・通行者への注意喚起の徹底 |
| 56 土 (42) | H25.03.19 11:00 立木処理 | 砂防 | 立木の集積作業中、グラップルで掴んだ木の一端が近くの根株に引っ掛かり、木が根株から外れて搬出用トラック付近を歩いていた作業員に当たった。 男 44歳 (肺座礁) 1カ月の治療期間を要する | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |

平成24年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成25年3月末現在) (NO:8)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|-----------------------------------|------|--|----------------------------|----------------|
| 57 農 (2) | H25.03.19 9:00 その他 | 農地 | 側溝を布設するにあたり、床堀を行ったところ隣接する擁壁と木塀が崩壊した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 58 土 (43) | H25.03.29 11:30 架空線・埋設物 | 砂防 | バックホウ移動中にアームを伸ばしたまま移動したため、現場上空にあった架空線に接触し、線を切断した。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 | ・安全対策の強化、徹底 |
| 59 土 (44) | H25.02.24 11:30 交通事故 | 河川 | 作業を一時中断して、バックホウを移動させようとバックさせたところ、排土板が一般車両と接触し破損させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・安全対策が不十分 ・危険予知、安全教育の不足 | ・安全対策・教育の強化、徹底 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |